記者発表資料

平成２９年５月１９日
国土交通省東北地方整備局
仙台河川国道事務所

阿武隈大堰における施設の変状について

・平成29年5月15日（月）国土交通省仙台河川国道事務所の職員による日常点検において、阿武隈川水系阿武隈川に設置している阿武隈大堰（左岸：岩沼市南長谷、右岸：亘理町逢隈）の護床工ブロックに変状が発生していることが確認されました。

・護床工ブロックは、河川流水により河床が洗掘されることを防止するために阿武隈大堰の下流に設置されているもので、**今回の変状が、ただちに阿武隈大堰の操作や下流に影響を及ぼすものではありません。**

・現在、国土交通省仙台河川国道事務所では、国土技術政策総合研究所と原因を調査するとともに、応急対策及び復旧方法を検討しているところです。

〇発生確認日
・平成２９年５月１５日（月）国土交通省職員の日常点検による

〇変状の状況
・護床工ブロック（Ｌ=約８０ｍ）の変状
（別紙「変状の状況」参照）
※護床工ブロックは、洗掘防止のため、堰や水門等構造物の下流に設置されるものです

〇変状の原因
・現在調査中です

〇応急対策及び復旧方法
・変状の原因を把握したのちに、応急対策等を実施します

〇その他
・今回の施設変状が、ただちに阿武隈大堰の操作や下流に影響を及ぼすものではありません

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会》

～問合せ先～
国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
住所：仙台市太白区あすと長町四丁目１－６０
電話：０２２－３０４－１８１３（河川管理課直通）
０２２－２４８－４１３１（代表）
副所長（河川）　白戸（しろと）　孝（こう）（内２０４）
河川管理課長　石井（いしい）　貴範（たかのり）（内３３１）

【阿武隈大堰について】

●阿武隈川の河道の安定と農業用水・工業用水等の安定的な取水位の確保を目的として、昭和48年に着手し、昭和57年4月に完成

●堰の長さが約750m（内、可動部470m）

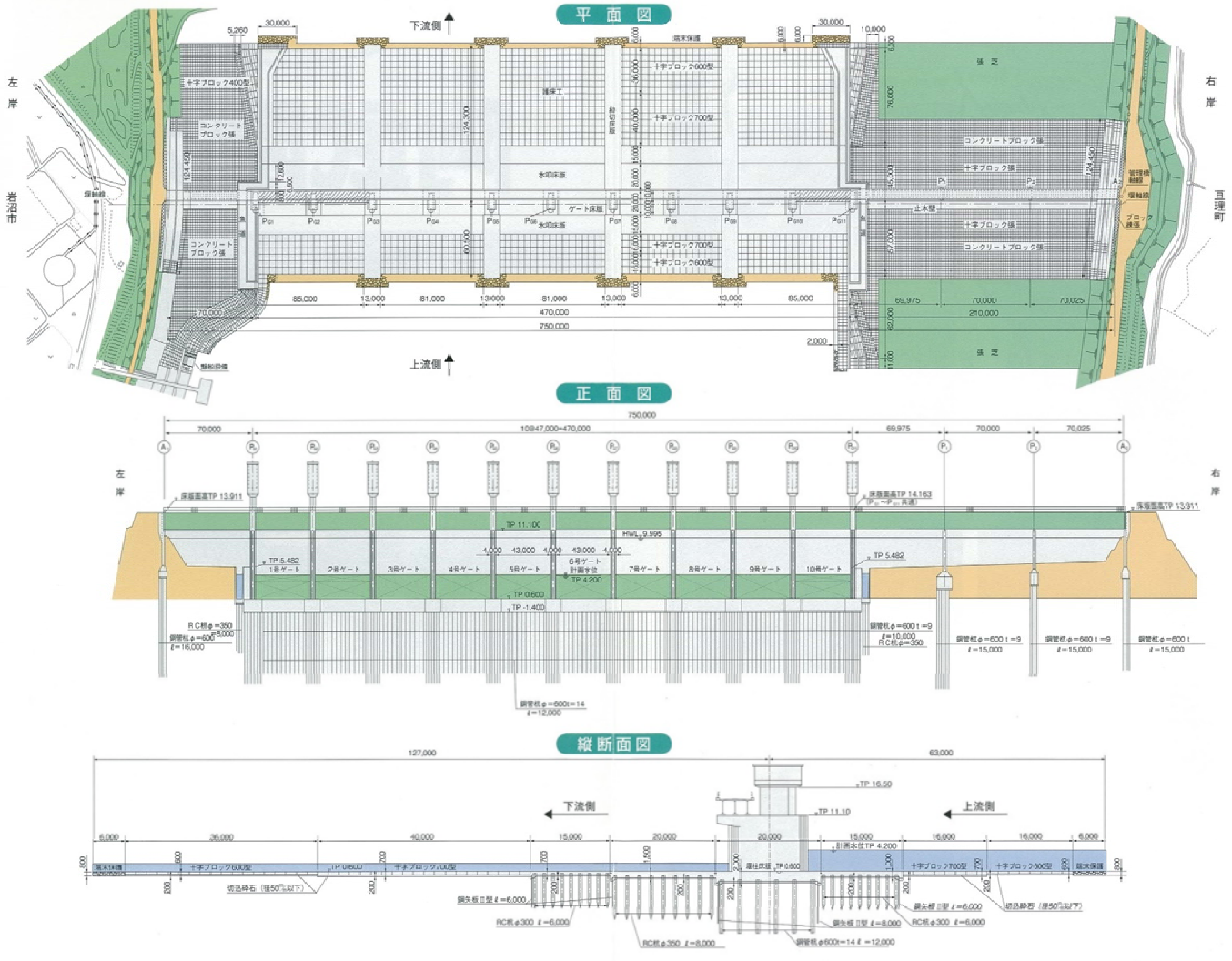
●ゲートが全10門（1門当たり43m）

●両岸に魚道を整備

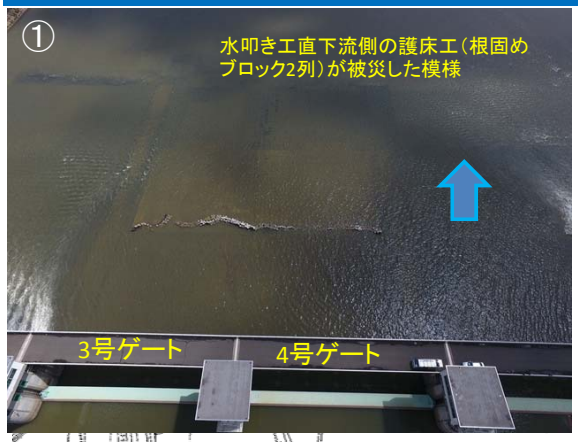
主 要 諸 元

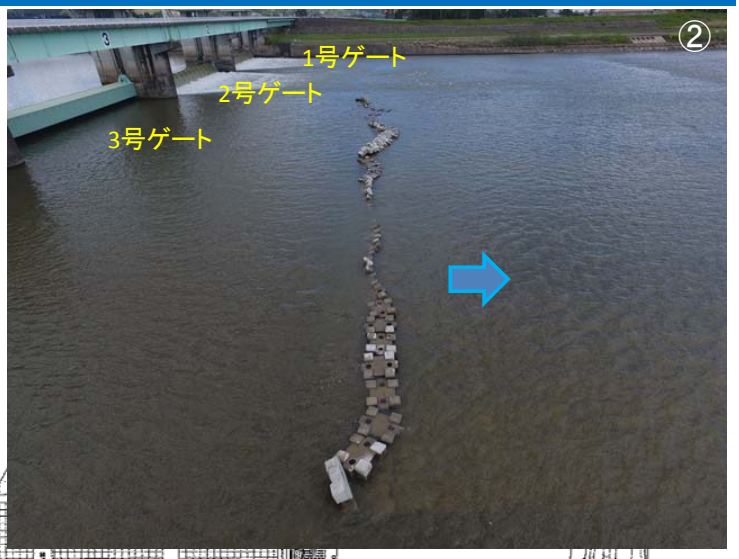
位　　置	左岸 宮城県岩沼市南長谷	
	右岸 宮城県亘理郡亘理町逢隈	
湛 水 位	T.P＋4.2m	
	（T.Pは東京湾中等潮位）	
計画高水位	T.P＋9.595m	
全　　長	750m	
	（うち、可動部延長470m）	
可 動 堰		
型　　式	鋼製ローラーゲート10門	
	（うち、フラップ付ゲート3門）	
ゲート寸法		
制水ゲート	幅43m×扉高3.8m	7門（3～9号ゲート）
調節ゲート	幅43m×上段扉高1.1m	3門（1・2・10号ゲート）
	幅43m×下段扉高2.7m	
予備ゲート	幅43m×扉高3.8m	1門
魚　　道	2箇所（左右岸）	
	幅5m×長103.2m	
管 理 橋	二等橋 幅員6.0m 延長750m	
	スパン70m 4径間	
	スパン47m 10径間	
取 水 量	岩地蔵取水口（かんがい用水）	
	最大12.82m³/S	
	日本製紙工場取水口 最大3.47m³/S	
	岩沼市上水取水口 最大0.192m³/S	
	亘理町上水取水口 最大0.0465m³/S	

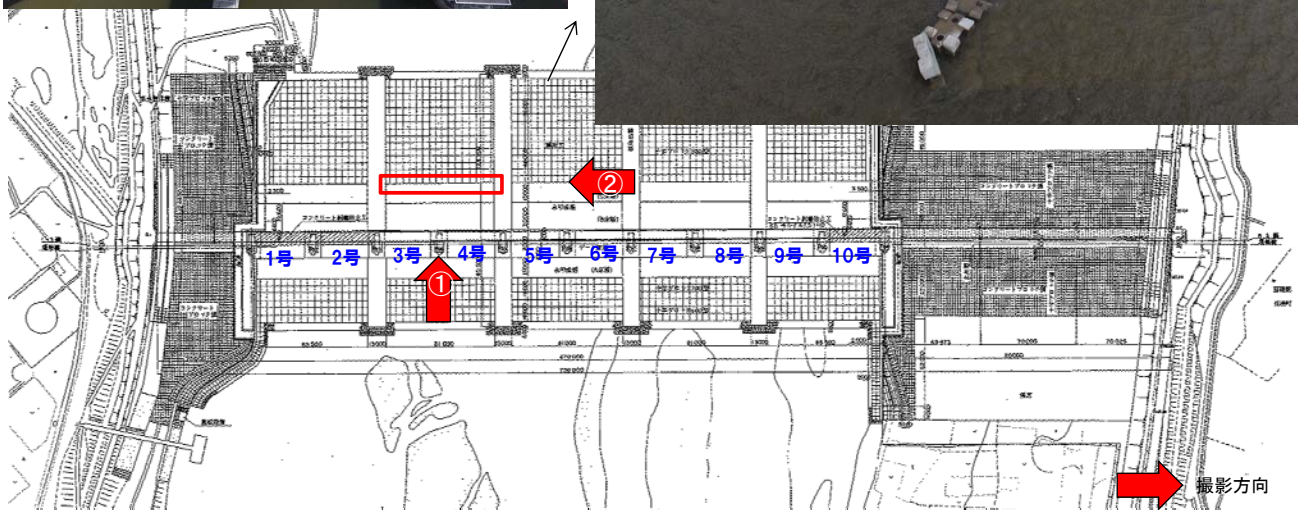




阿武隈大堰3号4号ゲート下流護床工変状状況写真（1）







阿武隈大堰3号4号ゲート下流護床工変状状況写真（2）

